

## 女子の部

### 準決勝戦第1試合

日本エースサポートは、新人の活躍で危なげなく勝ち上がり、初出場の樽谷塾と対戦。試合は、パワーと地力にまさる日本エースサポートが安定した試合振りです。樽谷塾を圧倒、決勝に駒を進める。

#### 先鋒戦。

武田は坂巻の後帯を持って攻勢に出るが、決め手に欠ける。坂巻も背負投で反撃するが、有効な技がなく、時間。

#### 中堅戦。

石川、体重を利用して序盤から前が出る。中盤に右大内刈りから奥谷をつぶし、1分58秒、腰絞めに決めて一本。

#### 大将戦。

巨体の新田、2分30秒、近藤が支え釣り込みに入るところをそのまま押し倒して、技あり。すかさず袈裟固に決めて、2分、合わせて一本。

日本エースサポート 2 - 0 樽谷塾

(先鋒) 武田 三友紀 2段	引分	坂巻 知春 3段
(中堅) 石川 笑美子 3段	腰絞	奥谷 晴加 3段
(大将) 新田 沙也加 3段	合せ技	近藤 麻美 3段

### 準決勝戦第2試合

大型新人を揃えた十全会・回生病院は無類の強さを発揮し、準決勝戦進出し、強豪の日本生命と対戦。試合は、両者ともに警戒して、なかなか技が出ず、試合が膠着する場面があったが、終盤になると地力に優る十全回・回生病院の選手が勝負どころを手堅く決めて決勝戦に進んだ。

#### 先鋒戦。

序盤、両者ともなかなか組めず、両者に指導。その後、笹原、前が出るが、湧

川は後退し、組み合わず、残り5秒で湧川に二回目の指導。これが決勝点となる。

#### 中堅戦。

池崎、前に出て、高部の頭を下げる。高部、技が出ず、続けて2回指導を受ける。最後は、池崎が右大内刈で崩し、終了21秒前に崩れ袈裟固に入り、そのまま押さえきる。

#### 大将戦。

上野、佐伯ともに右の相組手。佐伯、巨体を生かせず、上野を攻めめぐみ、両者に指導。その直後、残り30秒、佐伯が上野の奥襟をもって、小外刈でねじり倒して、一本。

日本生命 0 - 3 十全会・回生病院

(先鋒)湧川	のな	3段	(指導2)⊖	笹原	夏奈	3段
(中堅)高部	由美	3段	袈裟固	池崎	春華	2段
(大将)上野	まゆみ	3段	小外刈	佐伯	友美	2段

#### 決勝戦

共に危なげなく決勝戦に駒を進めた両チームの対戦。三連覇を目指す日本エースサポートに新人選手ばかりで念願の初優勝に燃える十全会・回生病院が挑む。

#### 先鋒戦。

右組同士、武田は体格で数段劣るも、右小内刈、右一本背負投、左釣込腰の多彩な技で果敢に攻める。しかし、笹原は体重差を利用してこれを難なくさばく。

1分20秒を過ぎる辺りで笹原にしっかり組み止められた武田が、苦し紛れに笹原の首を抱き込んで右大内刈に入ったところを、笹原は浴びせ倒すように体をあずけ武田を後ろに倒し、1分27秒技あり。笹原がそのまま横四方固で押さえ込み、1分50秒にブザー。合せ技一本。

#### 中堅戦。

共に右組み、体重差で優る石川が攻勢に出て前に圧力を掛ける。石川は場外に押し込みながら右釣込足で前に落とし、池崎が膝から崩れたところを、開始4

0秒巧みに崩れ上四方固で押さえ込み一本。日本エースサポートがタイに持ち込む。

大将戦。

1対1で迎えた大将戦は、新田右組み、佐伯左組み、新人同士、共に超重量級の対戦となった。試合は、両者見るべき攻防なく、1分7秒に両者に指導1。その後、組手を避けた佐伯に2分1秒に指導2が与えられる。その後も両者共、攻撃が不発に終わり時間。日本エースサポートの三連覇成る。

日本エースサポート 2 - 1 十全会・回生病院

(先鋒) 武田 三友紀 2段	合せ技	笹原 夏奈 3段
(中堅) 石川 笑美子 3段	崩上四方固	池崎 春華 2段
(大将) 新田 沙也加 3段 ⊖	(指導2)	佐伯 友美 2段